

**PHP 技術者認定試験の運営母体「NPO 法人 PHP 技術者認定機構」、
株式会社オライリー・ジャパンや PHP・OSS 業界人らで推進**

～PHP 教育業界の受講料金削減と利益率向上を目指した新ビジネスモデルを採用～

NPO 法人 PHP 技術者認定機構発起人会（代表者：吉政忠志、所在：東京都世田谷区、以下「PHP 技術者認定機構」）は、2010 年 10 月にベータ試験を開始する PHP 技術者認定試験の運営母体設立のため、本日発足しました。PHP 技術者認定試験は国内発の民間 IT 試験としては初めて市販本を主教材として採用した試験になります。このビジネスモデルによって、PHP 教育業界の受講料金削減と利益率向上の両立を実現します。試験開始より 3 年間で 5,000 人の合格者を輩出し、PHP 技術の普及と PHP 技術者の技術力向上を目指します。

【PHP 技術者認定機構について】

設立予定時期 2010 年 10 月

設立目的

- ・PHP 技術の普及や技術者育成の推進を目的とした活動全般
- ・PHP 技術者認定制試験「PHP 技術者認定試験」の運営
- ・出題レベルの設定、教材・スクールの認定など上記活動に付随する一切の活動

役員（候補）

理事長 伊藤 篤（株式会社オライリー・ジャパン 編集長）

顧問 大垣 靖男（エレクトロニック・サービス・イニシアチブ有限会社 取締役社長）
田中 正裕（アシアル株式会社 代表取締役）

副理事長 桑村 潤 ※技術責任者（初級試験問題担当）
永原 篤（株式会社オープンソースワークショップ 代表取締役）
※テクニカルマーケティング責任者、試験問題 WG リーダー
吉政 忠志（吉政創成 代表）
※経営責任者、運営事務局長（兼）

理事 杉本 等（株式会社パドラック 代表取締役）
※情報システム責任者
高木 正弘 ※上級試験問題担当

その他発起人 ライター 加山恵美

諮問委員 認定スクールによる出題範囲、試験問題、運営全般の諮問を行う委員

推進員 本機構の推進員

運営事務局 PHP 技術者認定機構事務局

※ 理事長、顧問、副理事長のプロフィールは別紙を参照ください。



【PHP 技術者認定試験概要】

目的 PHP の専門技術取得能力を正に評価できる技術者認定試験を実施することにより、「認定者の雇用機会」や「認定者が所属する会社のビジネスチャンス」の拡大を図ることを目的とする。

種別 初級試験:PHP プログラミングの基本知識を問う試験

上級試験:PHP の言語仕様から実用的なプログラミングテクニックまでの知識を問う試験

受験料金案

初級試験 12,000 円/回(税抜)

上級試験 15,000 円/回(税抜)

試験会場

認定スクール会場でのペーパーテスト(初級のみ)

CBT テストセンター(開始時期:未定)

初級試験概要 設問数 40 問

時間 1 時間

合格ライン 7 割正解

出題形式 選択式(単一または複数選択)

上級試験概要 設問数 60 問

時間 1 時間 30 分

合格ライン 7 割正解

出題形式 選択式(単一または複数選択)

主教材

初級試験用主教材:初めての PHP5(出版社:オライリー・ジャパン 価格:2,940 円(税抜))

上級試験用主教材:プログラミング PHP 第 2 版(出版社:オライリー・ジャパン 価格:3,990 円(税抜))

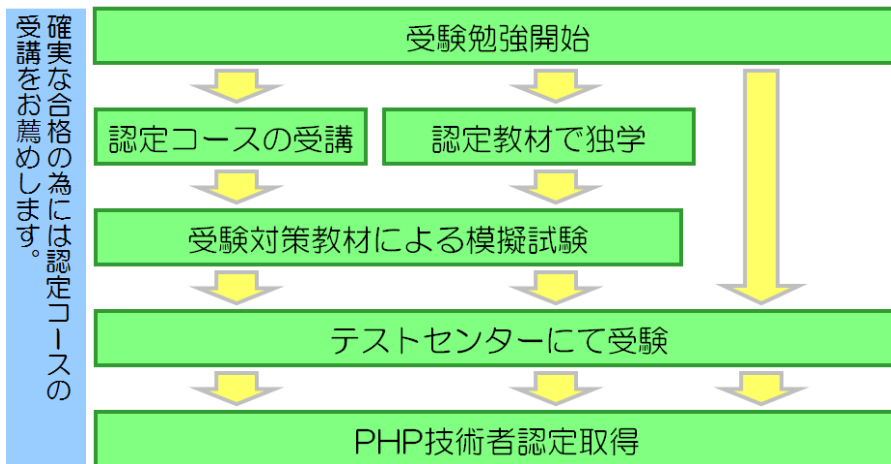
初級試験出題範囲(案)

目次	出題割合
1 章 オリエンテーションと始めの一步	0.06
2 章 テキストと数の操作	0.08
3 章 判定と繰り返しについて	0.08
4 章 配列の操作	0.08
5 章 関数	0.08
6 章 Web フォームの作成	0.08
7 章 データベースに情報を保存	0.08
8 章 クッキーとセッションでユーザを記憶	0.06
9 章 日付と時刻の取り扱い	0.06
10 章 ファイルの操作	0.08
11 章 XML のパースと生成	0.02
12 章 デバッグ	0.04



13.8 クラスとオブジェクト (クラス定数も含む)	0.02
14 章 日本語処理	0.06
付録 B 正規表現の基本	0.04
付録 D PHP5.1 と PDO	0.02
追加 1. セキュリティ(各章からのポイントの集約)	0.02
追加 2. 出力バッファ(エラー処理。各章からのポイントも含む)	0.02
追加 3. 定数・予約語	0.02

【PHP 技術者認定試験の受験までの流れ】



【諮問委員および認定スクールの募集】

本日より、PHP 技術者認定機構の認定スクール(及び諮問委員)を下記の要領で募集いたします。

参加条件

- ・法人であること
- ・年間 10 万円(税別)の参加費用の支払い
- ※2011 年 3 月までに申し込みをされた場合、2012 年 3 月までの期間を初回分と換算します。
- ・理事会での承認
- ・認定インストラクターの在籍

参加メリット

- ・諮問委員会への参加が可能(試験問題の諮問が可能)
- ・認定コースの実施が可能
- ・副教材の認定申請が可能(10 万円(税別)/回)
- ・フラッグの別途購入が可能(別料金)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

NPO 法人 PHP 技術者認定機構 発起人会 広報担当:吉政忠志、加山恵美

電話:080-3079-4441(吉政) Mail:php-exam@oreilly.co.jp

※本件の詳細資料のお問い合わせなども上記窓口で承ります。

記載されているロゴ、会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。



別紙: NPO 法人 PHP 技術者認定機構の理事長、顧問、副理事長のプロフィール

NPO 法人 PHP 技術者認定機構(予定)

理事長候補: 伊藤 篤

株式会社オライリー・ジャパン 編集長

業界紙、出版社などでのライターや編集者を経て、1995 年ごろより Web 制作に関わる。様々な Web サービスや EC サイトの企画制作に携わる。2002 年から株式会社オライリー・ジャパンに参加。2004 年より現職。“changing the world by sharing the knowledge of innovators”のミッションの下、オープンソース・テクノロジーを中心に、最新テクノロジーの書籍化に尽力している。

※オライリーメディアとは(詳細は: <http://www.oreilly.co.jp/>)

「アニマル本」で開発者に知られているオライリー(O'Reilly Media 米国本社)は、書籍やオンライン・サービス、雑誌、カンファレンスなどを通してイノベーションのナレッジを広める。1978 年以来、テクノロジーのトレンドの中で本当に問題となっていることや最先端の開発者たちが取り組んでいることに的をしぼって、開発の最先端を記録し伝え続けている。

顧問候補: 大垣 靖男

エレクトロニック・サービス・イニシアチブ有限会社 取締役社長

University of Denver 卒。同校にてコンピュータサイエンスとビジネスを学ぶ。(株)シーエーシーを経て、エレクトロニック・サービス・イニシアチブ(有)を設立。セキュリティや Web コンサルティングのほか、開発も手掛ける。著作は『Web アプリセキュリティ対策入門』のほか、『はじめての PHP 言語プログラミング入門』『改訂版 PHP ポケットリファレンス』(すべて技術評論社)。<http://www.es-i.jp/>

顧問候補: 田中 正裕

アシアル株式会社 代表取締役

1981 年香川県出身。小学生を米ダラスとロサンゼルスで過ごし、インターネットを知る。中学・高校時代にはフリーソフトウェアやシェアウェアなどの作成を活発に行う。2000 年に東京大学工学部への入学と共に、株式会社ホライズン・デジタル・エンタープライズ、株式会社キュリオシティのアルバイトを経て、2002 年 7 月にアシアル株式会社を設立、日本初の PHP 言語専門誌「PHP プログラマーズマガジン※1」を創刊。当時、大学 3 年生、21 歳。その後、東京大学大学院を中退し、現職に専念。「超極める! PHP」や「日経ソフトウェア特集」、ITPro「PHP ウォッチ」など多数の執筆 / 講演をこなす。

副理事長候補: 桑村 潤

1983 年から科学技術関連分野のシミュレーションにたずさわり、1988 年には Unix でのシステム開発に従事する。当時はスクリプト言語としてシェルと Perl が主流であったが、Unix を使い始めてフリーソフトウェアの世界に足を踏み入れることになり、1992 年から Linux を使った社内インフラの整備にも着手する。その後、ネットワーク、ウェブ、データベース、統合認証などの分野でオープンソフトウェアを応用した取り組みを行う。1995 年くらいから、Web サーバと DBMS の連携ができるため PHP/FI (PHP の前身)を使いはじめ、2006 年からは、オープンソースソフトウェアを利用した IT 関連のコンサルティング、システム構築、および、さまざまな開発を行う。



■ 主な著書

- ・『Kerberos』、『初めての PHP5』、『入門 PHP セキュリティ』(共訳、オライリー・ジャパン刊)
- ・『PHP5 徹底攻略』、『PHP5 徹底攻略エキスパート編』(共著、ソフトバンクパブリッシング刊)
- ・『例題で学ぶ Linux プログラミング』(共訳、ピアソン・エデュケーション刊)

副理事長候補:永原 篤

株式会社オープンソースワークショップ 代表取締役

NPO 法人コモンズネット 理事

OSS コンソーシアム 理事

汎用機からクライアント・サーバ、WEB システムと時代の流れに応じて業務システムを開発するプログラマーとして、また、企業の管理職として19年間システム開発に携わった後に独立。独立後は「損して得取れ」を理念とし、得意とするオープンソース CMS の導入やカスタマイズのコンサルティング・開発から運用サポートを行う。また、日本のものづくりの技術を伸ばし、IT のメリットをより多くの人に届けるために、OSS コンソーシアムや NPO 法人コモンズネットでオープンソース CMS の普及活動を行う。

■ 主な著書、補足事項

- ・『私にもできちゃった! NetCommons で本格ウェブサイト』(共著、近代科学社刊)がある。
- ・PHP カンファレンスジャパン 2010 ゲストスピーカー
「NetCommons でオープンソース・ビジネスモデルの実現」

副理事長候補:吉政 忠志

吉政創成 代表

OSS コンソーシアム 副会長

IT 系各業界のトップベンダー・トップベンチャー企業を中心に17年間、新規事業の立ち上げや戦術転換によるV字回復を多く経験する。日本の IT 業界の発展のためには人材の好循環とその為の教育機関の発展が重要であると考え、教育分野にも尽力する。XML マスター、Turbo-CE の初代責任者も歴任し、合格者を5千人以上輩出した日本発の民間 IT 資格を複数立ち上げた唯一の日本人として教育分野での実績がある。

■ 業界団体関連略歴

- ・OSS コンソーシアム(旧:Linux コンソーシアム)副会長(2004年~2010年)
- ・LinuxWorld ボードメンバー(2000年・2001年・2005年)
- ・XML 技術者育成推進委員会(XML マスター運営母体) 事務局長(2001年~2003年)
- ・文部科学省 IT フロンティア教育推進事業 XML 教育プログラム委員(2001年~2003年)
- ・XML コンソーシアム 運営委員 兼 ContactXML 部会リーダー(2001年~2003年)
- ・ContactXML.org 事務局長(2001年~2003年)

以上

